

チャットGPTの庁内業務への 活用試行を始めました

デジタル戦略課・組織戦略課

チャットGPTとは？

- 人工知能 (AI) を使ったチャットサービス (2022.11公開)
- 質問に対し、人間のようにならでなめらかな回答を生成
- 情報検索以外にも文章作成やアイデア提案が可能
- 行政事務に活用試行する自治体も増えつつある

【懸念される事項】

- 回答が正確性を欠いたり、著作権を侵害する恐れ
- 蓄積されたAI学習用データが漏えいする恐れ

市役所の業務効率化のキャッチフレーズを5つ考えてください。

市役所の業務効率化のキャッチフレーズを5つ考えてみました。どうぞご覧ください。

- 市役所はスマートに、市民はスマイルに。スマートフォンやインターネットを活用して、市役所の業務を効率化し、市民の利便性と満足度を向上させます。
 - 市役所は一人ひとりに寄り添います。市民のニーズに応えるために、市役所の業務を柔軟に改善し、個別対応やオーダーメイドサービスを提供します。
 - 市役所はチームワークで進化します。市役所の職員は協力して業務を行い、情報共有や意見交換を通じて、市役所の品質とスピードを高めます。
 - 市役所はイノベーションで未来を切り開きます。市役所は最新の技術や知識を取り入れて、業務を革新し、市民の暮らしを豊かにします。
 - 市役所はエコロジーで地球にやさしく。市役所は省エネやリサイクルなどの環境対策を実施して、業務の環境負荷を低減し、地球に貢献します。
- これらのキャッチフレーズは、市役所の業務効率化の目標や方針を表現するものです。市民にとって魅力的でわかりやすいものを選んでください。😊

チャットGPT活用試行の概要は？

- 業務の効率化を目的に、本市庁内業務でのチャットGPT活用を試行的に実施
- 重要情報の入力を禁止するなどルールを策定し、庁内業務における効果を検証

どんなルールですか？

主な使用ルールは次のとおり。

- 個人情報・非公開情報など**重要情報の入力**は**禁止**
- 生成された文章等が**正確な情報であるか**、**著作権の侵害がないか**を必ず**検証**
- **過度に依存することなく**、**庁内業務の効率化**に向けた**補助ツール**として**使用**

どんな場面で使用しますか？

次のような場面を想定。

- 情報検索、情報収集、翻訳
- 通知文やプレスリリースの草案作り
- イベントやチラシなどのタイトルやキャッチフレーズのアイデア出し
- 表計算ソフトの関数やマクロ検索 など

今後の予定は？

- 試行期間は、7月20日(木)～9月29日(金)
- 検証作業も並行して実施
- 時短や省力化などの効果が認められれば、10月以降も継続して使用する予定
- 生成AIの仕様や社会動向の変化などを踏まえて、適宜使用ルールなどを見直す